

# 八紘一宇とは人類共生



元海軍兵学校第77期生

高田 久昭(中能登町)

## 江田島アンカークラス会

昨年夏の海の記念日に瀬戸内の江田島(広島県)で、集まつた新聞記者の皆さんから不可解・不思議な集まりといわれた総会があった。それは全国総会が盛大に行われたからである。

記者の質問は「終戦の時、わずか四か月余の短い期間を共に過ごした」というだけで、どうして六十三年を経た今も、こんなに熱い情熱と強い同期の絆が続いているのか」の一

点に集中していた。数学の答えのようにはならないが、一つは愛する家族のためにその家族の住む祖国を守るために身命を賭して海軍という軍籍に身を置き、日夜厳しい訓練と潮香の風に鍛えられた共通の体験が深くその後の人生の原動力となり背骨の指針となつているからであろう。もう一

海軍では”スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂こそ船乗り”とし、江田島では「五省」を厳しく躰けられ

た。だ戦争のない状態をいうのでなく、世界中の人々と国が睦み合い、助け合っていく共生でなくてはならない。戦前「八紘一宇」の思想があつたが、戦後それは世界制覇の野望の証として断罪され死語となつた。しかし、八紘とは世界のこと、一宇とは一つの家と一つの家、一つの家族の如くあれかしとの世界観である。軍国主義、全体主義とは全く異なるもので、むしろ世界連邦の思想と一致するのではないか

うか。海軍では”スマートで目先が利いて几帳面、負けじ魂こそ船乗り”とし、江田島では「五省」を厳しく躰けられ

た。いわく、「1に至誠に恃るなりしか、2に言行に恥ずるなりしか、3に気力に欠くるなりしか、4に努力に不精に亘るなりしか、5に不精に憾みなかりしか、5に不精に

②誰よりも忍び、③誰よりも努力し、④誰よりも心を碎き、⑤誰よりも求めず、と教えられた。古き良き海軍文化を一つでも二つでも子や孫に伝えんと願う深い思いが最後の総会の心ではなかつたかと私は信じている。(筆者は旧鹿島町選管委員長、

北陸乳業KK専務、JA能登わかば副組合長などを歴任、現在中能登町振興寺門徒総代(会長)

## 事務局日誌(08)

|   |  |                           |                             |                    |                    |      |
|---|--|---------------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|------|
| 11・5  | 10・25  | 10・9                      | 10・9                        | 9・5                | 7・23               | 11・9 |
| 18  | 27   | 25                        | 4・19                        | 5                  | 23                 | 9    |
| 世界連邦運動60周年記念第27回日本大会(平口・荒島)                                       | 事務局会議(石浦神社)  | 平成20年度第2回理事会(金沢エクセルホテル東急) | 平成20年度第2回執行理事会(金沢エクセルホテル東急) | 08年度第2回執行理事会(石浦神社) | 08年度秋の講演会(金沢工業大学)  | 12・9 |
| 中谷はじむ(金沢市光が丘)   | 金子出席(東京・国連大学)  | 石川県内優秀作品展(香林坊アトリオ2階)      | 審査会(石浦神社)                   | 審査員決まる             | ポスター・作文コンクール       | 11・9 |
| 道院境内での少年少女たち  | ウ・タントホール   | ポスター・作文コンクール              | 世界連邦運動60周年記念第27回日本大会(平口・荒島) | 行                  | 12・11              | 11・9 |
| 写真<br>「ハンガリーのパンノハルマ修道院境内での少年少女たち」                                 | 石川県内優秀作品展(香林坊アトリオ2階)   | 12・27                     | 17・27                       | 11・21              | 08年度第3回執行理事会(石浦神社) | 12・9 |
| 百日紅妻に看取られ犬逝けり<br>秋風にピアニカの音や野外ミサ<br>藪枯らしにんまり笑ひ花をつけ<br>色鳥の枯山水に来て居たり | 王子さま星へ満天星紅葉して<br>雪舟の慧可断臂図に柿供ふ<br>王子さま狐に学ぶこと多し<br>海軍の伝統は、その<br>通する人類共生の悲願 | 11・5                      | 10・9                        | 9・5                | 12・11              | 11・9 |

## 編集後記

年暮れにやや過密日程を過ごしたあと両足に寒けを感じた。その夜から風邪気味となり、菌が腹に付いたのか食べたものが消化せず食欲もない。翌日医者にかかり、初めて点滴を受けた。静かに目を閉じていると風邪菌がどんどん追い出されていくのが出来ないことに痛感した。忙と閑、自力と他力の調和が乱れる老年は殊にこたえる。幸い快復し会報の編集を終えることができた。万物に感謝。(S)

印刷を極め、  
印刷を超える—

「新しい社会に貢献する企業」を  
目指します。

ヨシダ印刷株式会社

Tel.076-241-2141(代) FAX 076-243-4515

俳句 星の王子さま

徳村二郎

(内灘町・築港同人)

王子さま狐に学ぶこと多し

王子さま星へ満天星紅葉して

雪舟の慧可断臂図に柿供ふ

秋風にピアニカの音や野外ミサ

藪枯らしにんまり笑ひ花をつけ

百日紅妻に看取られ犬逝けり

色鳥の枯山水に来て居たり

指揮官は誰よりも求めず